

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 梓の郷	代表者	豊田喜久夫	法人・ 事業所 の特徴	「わたしらしく、いつまでも」の法人理念を在宅介護サービスの分野においても、より実践していきたいと考えている。さんぼみちは「わたしらしい人生をいつまでもわたしらしく堂々と生きる」をモットーに、今までの人生で培ってきた「持ち味」や「力」をさんぼみちでも発揮できる支援をしていく。 「また行きたくなる、誰でも気軽に来れる場所」という総合コンセプトのもと、介護を必要としている高齢者のみならず、子ども、障がい者、地域住民誰もが、“ごちゃませ”に集える場所を目指している。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護さんぼみち	管理者	小林俊介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	2人	1人	1人	0人	4人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービスの質の向上を目的に法人で行う研修、事業所内部研修、個々の必要な研修を計画し実施する。	内部研修も計画的に行えず、課題の見える化がうまく出来ていなかった。質の向上という面ではかなり遠い現状があり、来年度に向けて計画的かつ現状にあった内部研修や外部研修を行っていく必要がある。	地域というテーマで計画も具体的だった。働きやすい職場作りに心掛け一人一人が持つ情報を共有し、利用者に適切なサービスが出来ると良いと思う。 できている点とできていない点が明確な為今後の改善に向けてほしい。	質の向上に向け現状の課題にあった勉強会を計画的に開催する。利用者個々の固有な情報を捉え支援に役立てられるよう会議だけでなく日々共有していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き地域住民の集いの場を目指す。よりみち利用者からの意見、要望がある場合は経営企画室と連携を図り環境を整えていく。	管理者や計画作成担当者、経営企画室室長のみが地域住民と関わっていて現場の職員が関わっていない。地域住民や催事企画者からの声は拾い環境の見直しには繋げていけていた。	このさんぼみちの場をもう少し地域に伝わっても良い。利用している人からすると雰囲気もよく居心地が良い空間。	さんぼみちは利用者が落ち着く空間、外部の方から評価してもらえるような環境作りに努めていく。よりみちは地域の方の意見を汲み取り来やすい環境作りをしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	よりみちでのイベントは地域の方々だけではなく家族、利用者にも案内をする。地域に向けて事業所として出来ることはする。具体的な内容は運営推進会議の場を用いて検討する。	運営推進会議での議題を現場職員にも周知し地域の現状を分かってもらおうよう会議で報告。但し、現場の職員がどう地域と関わっていくかが分からないことと、特定の職員のみが関わっているだけで希薄さが目立つ。	町会としてはよりみちという場を使うことができ感謝している。百歳体操以外にも他のイベントで地域の方が集いの場として活用しやすくなっている。現場職員が携わっていないということなのでなるべく皆が関わると良いと思う。	さんぼみちの職員が利用者よりみちのイベントに参加できること。さんぼみちの職員が地域の方々と付き合いができるよう検討を重ねていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>利用者が地域での生活者として暮らしていく為に地域との関係の構築を目指し、地域の行事には参加できるように図っていく。</p>	<p>地域行事があまり行われていないのもあったが利用者が参加することは無かった。梓川地区はまだ良いが他の地区の利用者の地域の実態は皆無な状態。</p>	<p>実際にどこまで地域の行事などに利用者さんが参加しているのか分からないが地域の活動や課題などにアンテナを張っていると思う。必要とされる事業所作り日々励んでいる。</p>	<p>地域の活動、地域行事には地区の回覧や運営推進会議から情報収集をし、参加できるように図っていく。利用者が住んでいる地区の民生委員やなど関わりが持てるよう連携に努める。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議では、事業所の困りごととも地域の困りごととも共に考えていける話し合いの場とし課題解決に取り組んでいく。</p>	<p>ゴミ問題、足問題など事業所が解決まで出来る問題ではないが、少しでも貢献出来るよう法人内でも課題の取り組みに向けられた。町会長や民生委員の方々が事業所へと出向き相談に来てくれた。</p>	<p>地域課題なども一緒に取り組もうという姿勢を感じている。利用者も含め会議の出席者も多く多様な意見を聞きたいという姿勢が感じられる。相談もしやすくなりありがたい。</p>	<p>地域での課題は事業所での課題と認識し、課題の程度によっては法人内でも共有し解決できるよう取り組みを行う。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>事業所のBCPを地域の実情に合わせたものへと見直しを行う。防災訓練は参加の有無を近所へ声をかける。</p>	<p>BCPの見直しは全く出来ていない、職員間でも共有が出来ていない。避難訓練は民生委員も参加してもらっている。</p>	<p>町会の自主防災訓練に参加していた。今後どんな災害が起きるか分からない為意識を高く災害計画や訓練を行っていく必要があると思う。</p>	<p>BCPをより実用的なものへと見直しをする。地域に関わる防災にも事業所として出来ることはアウンスしていく。</p>